

水稲(コシヒカリ)

情報提供：静岡県袋井市在住 M様 (20030) 2008年11月7日

穂が長くなり、粒が大きく、穂先まで揃っていました。甘味があっておいしいお米ができました。

特長

- 無農薬で栽培することが出来、年々収穫量も上がっています。
- 苗の根の張りがよくなり、株元が開いていて、茎が太くしっかりしています。
- 穂が長くなり、粒が大きく、穂先まで揃っていました。
- 定植後の苗の痛みがありませんでした。
- 葉の色は、最後まで緑色でした。

栽培地状況

- 周辺は、田園地帯です。
- 水稲90アールの栽培をしています。
- スーパーERは、2006年から使用しています。

施用状況

＜2007年～＞ 90アール当たり

	日付	希釈倍率	施用量
種もみ処理	4/ 14 ~ 15	500倍	
種まき時期	4/ 16		
定植時期	5/ 11 ~ 13		
土壌灌水	5/ 5	1000倍	200ℓ
流し込み	7/ 1	20倍	4ℓ
作物への散布	7/ 21	500倍	200ℓ
収穫時期	9/ 12 ~ 18		

生産者の声

- ◎代掻き前にスーパーERを使用しました。
- ◎コシヒカリは稲の丈が伸びて倒伏しやすいが、スーパーERを使うと倒伏の心配がないです。
- ◎肥料は、米ヌカや種カスしか入れていないので、初期の育成は良くないのですが、その後の育成が良く、周辺農家から関心を持たれています。
- ◎これからもスーパーERの使用を続けていきます。

◆ご使用にあたってのポイント

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。